

静かな空をもとめて 第3次新横田基地公害訴訟 準備会ニュース NO3

2022年(令和4年)

2月20日発行

第3次新横田基地公害訴訟準備会

東京都福生市球磨川1655-3

白鳥第2ビル302号

メール: contact@yokota-kougai.com

前回に迫る加入者です ぜひまわりに広げてください

「第3次新横田基地公害訴訟準備会」は、昨年12月6日から原告の募集を開始いたしました。

公式サイトから
説明会参加者から
多数の新規加入が

コロナ禍という厳しい条件のもと、昭島、八王子、日野、福生、瑞穂の各支部では説明会を精力的に行ってきました。

弁護団の説明を聞いて「安心して参加できる裁判だ」と言って、その場で加入される方。「オスプレイの騒音はひどい」「低空旋回飛行は怖い」と被害の実態を出し合う中で加入される方が多数です。

また公式サイト(ホームページ)を見て、新しく裁判に参加してみようと申し込んでこられる方が日々増えています。

第2次訴訟の原告の皆さん。新たに参加された皆さん。

現在1,000人をこえる加入申込はがきが届いています。

この勢いをさらに加速して2倍の2千人、3倍の3千人の原告を集めるためお力をお貸しください。



危険なオスプレイの飛行はやめて
ゴドゴドと窓枠をふるわせる
騒音はやめて



団費は お1人5千円に（年額）

多くの方が裁判に参加してもらいたいと、準備会は、団費をこれまでの1人年額1万円を5千円に引き下げました。

また1世帯で小さなお子さんも参加する場合や、世帯の人数が多い場合（3人以上の世帯）は例外的に年額1世帯1万円をお支払いいただくことも検討しています。

その意をくみ取って加入をお願いします。

●みなさまにお願い

◇ご近所の方、お知り合いに同封のリーフレットをお渡しください。

裁判に参加していただくよう声をかけてください。

◇加入申込はがき（リーフレットの中面）をまだお出しになっておりませんでしたら、ぜひ提出してください。（郵送ではチョットという方は、地域の世話人さんに託すことも可能です。）

◇SNSで「横田 公害」と検索すると公式サイトを見ることができます。周りの方にもすすめてください。

みんなで参加。大きな訴訟団で「静かな空」を取り戻しましょう。

各地域の活動の様子



法律事務所にA1版ポスターを張り出し。通行人も注目（左写真）



ZOOMも活用しての説明会（日野支部）（右写真）



熱心に説明を聞く参加者（昭島支部）（左写真）

通勤、通学の皆さんも注目
(福生支部・拝島駅前での宣伝)
風船も配るなどユニークです



加入をためらっていた方も
説明聞いて納得⇒すぐに参加

2年間で500枚もオスプレイや輸送機の写真を撮ったが
「裁判に訴えることが手っ取り早い」と加入する方も
(八王子支部説明会)



ベテラン、中堅、若手の
弁護士
30名の信頼できる弁護団
とともに



昭島支部宣伝カー
が始動

◆瑞穂支部は年末・年始、箱根ヶ崎西松原地域を中心にリーフ・チラシを累計3600枚配布しました。
◆説明会はコロナ・オミクロンに注意しつつ、2月11日までに6回行いました。参加された方には加入を広めるため、ハガキ付きリーフを複数枚持ち帰ってもらっています。皆さん快く協力してくださっています。

■声・こえ■

裁判といっても始まるのはまだ先なんですよ？

第2次に参加していたので次の裁判も継続すると思っていたけど？

▼自動的に原告にはなりません。ご面倒でも加入申込はがきで申し込んでくだ

▲原告を募集中です。多くの方の参加で裁判手続きに入るよう頑張っています。加入手続きがまだの方はお早めに手続きを



裁判は長くかかるのでは？
高齢なんで悩んでいます！

裁判やってもアメリカ軍機の飛行は減らないのでは？

途中で死んだり、
引っ越したらどうなるの？

▲裁判を早く済むよう求めます。
子や孫に静かな空を渡したい、この思いを原告になることで示しましょう。

▼飛行を差止めることは大変ですが、これまでに夜10時から朝6時まで飛行制限を勝ち取りました。数は力です。

▲相続人が承継して原告になります。コンター外に引っ越すまでの期間は賠償されます。また提訴前3年間の過去の損害賠償は請求の対象になります。

「国を訴えるなんて」とお考えの方へ

弁護士 加納 力

横田基地公害訴訟は裁判の積み重ねを通じて着実に成果を上げてきましたが、最大の課題は「飛行制限」と「将来にわたる補償」です。

数は力。多くの住民が訴訟に参加することで国も米軍も軽視できなくなります。少なれば被害実態も軽んじられて、周辺対策さえ甘くなってしまいます。そうなったら、飛行制限とか将来にわたる補償どころか、今以上に好き放題、やり放題にだってなりかねません。現に、第2次訴訟では第1次の6千人から1千人に減ったのに合わせるように、横田基地は輸送中継基地から訓練基地へと性格を変え、今やオスプレイの特殊部隊が常駐するまでになっています。

「国を訴える」なんて聞くと、「何もそこまでしなくても」、「国防に住民が口出しするなんて」と思ってしまいますが、態度で示さないと相手には分からないのが世の常。原告に名前を連ねることは、「もうこれ以上はカンベンしてよ」、「私たちだっていつまでも黙って我慢しているわけじゃないよ」という意思表示でもあるのです。

みなさんも一緒に参加しませんか。

メール: contact@yokota-kougai.com

公式サイト、Twitterで横田基地公害訴訟の情報を拡散してください。



公式WEBサイト



Twitter

☆編集後記

第3次新横田基地公害訴訟に向けて、原告募集が始まって2か月がたちました。準備会ニュース第3号は各地域での説明会の様子や、説明会の中で出された意見や質問などにもお答えしながら、みなさんにさらなるお力添えをお願いしようと話し合って発行することになりました。

みなさんの声が反映する紙面を作っていきたいと思います。声を寄せてください。

(編集チーム)